



乳房切除術を受けられる()さま

主治医は、小林達則・上山聰・岡林弘樹・竹原清・竹原祐 です
 病棟師長は、 です
 担当看護師は、 です

月・日・曜日	入院日から手術前日まで (/) ~ (/)	手術日 (/)		手術後1日目 (/)	手術後2~4日目 (/ ~)	手術後5~7日目 (/ ~)	手術後8~13日 目 (/ ~)	手術後14日目~退院日 (/ ~)	
	手術前	手術後							
目標	身体的・精神的に手術の準備が整う		痛みがコントロールでき、合併症なく過ごすことができる	呼吸や血圧が安定し、痛みがなく離床できる	感染症を起すことなく経過し、社会復帰に向けての準備ができる				
安静度	病院内自由です 	深部静脈血栓症予防の弾性ストッキングをはきます	ベッド上安静です 寝返りはできます 足を動かすこともできます 手術した方の腕は枕の上に置きます	座る練習から始めます 調子が良ければ、がんばって歩きましょう 歩行できれば、弾性ストッキングは脱ぎます	病院内自由です	病棟内自由です			
食事	前日の夕食まで入院時の食事です	()時まで水分がとれます 食事をとることはできませんが、うがいはできます		医師の診療後、水分をとれるようになります 昼から食事が始まります(5分粥)	2日目昼から全粥 3日目昼から普通食				
清潔	当日の朝まで、シャワーは自由にできます	浣腸の後、シャワーしてください その後、手術衣に着替えます		体を拭きます 	下半身シャワーはできません	創部のチューブが抜けたらテープを貼ってシャワーができます		テープやガーゼがとれればシャワーができます	
検査	鼻にばい菌がないか、綿棒で検査します 股の付け根から、医師が採血します 手術の3日前から血圧を一日一回測ります その他、医師の指示により検査があります		手術後、15~30分ごとに血圧を測ります その後は1~2時間ごとに測ります 酸素マスク・心電図モニターがつけます	検温は1日4回行います 酸素マスク・心電図モニターをはずします 採血・検尿・レントゲン検査があります	術後7日目に採血と検尿があります		検温は1日1回行います		
内服	前日の夕食後に胃薬を飲みます 前日の夜9時に下剤を2錠、希望時安定剤を1錠飲みます	当日朝6時に胃薬を飲みます		術前に飲んでいたので、医師の指示で再開します					
注射		朝8時かそれ以降に点滴を始めます	24時間続けて点滴をします	点滴が4本あります 抗生剤の点滴が1日2回(朝夕)あります	術日2日目まで				
処置		朝、浣腸をします 前日に必要であれば、手術する部位の除毛をします 必要であれば、右太ももの除毛をします	手術中に尿を出すための管が入ります 手術中に創部にチューブが入ります	尿の管を抜きます 尿はピンにためるかメモしてください 	術日4日目の10時まで 術後3日目に背中痛み止めの管を抜きます 管から排液が少なくなったら、医師がチューブを抜きます				
説明・指導	看護師が手術前後の経過について説明します うがいなどをしていただきます リハビリ担当者がリハビリプログラムの説明をします 主治医および麻酔医が手術について説明します 眠れない時は、看護師にお知らせください 《必要物品》 ・タオル2~3枚・ティッシュペーパー1箱 ・水のみ・(義歯のある方)義歯入れ		家族の方に、手術室で手術結果を説明します 痛みがあるときは痛み止めを使いますので、看護師にお知らせください	ベッドサイドでリハビリを開始します 寝ているときは、手術した方の腕は枕の上において下さい 				看護師が退院指導をします 証明書・診断書の必要な方は1階の医事課へ書類を提出してください	

* 病状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、遠慮なく主治医・担当看護師におたずねください。